

發行兼編輯人 川崎文治

本社下町番地 (電話六三〇番)

印刷所 常葉毎日印刷所

定価 一部金貳錢 廣告五錢 印刷費五錢

電話六三〇番

常葉新聞

刊夕日五十二月一十

常警論壇

流行音樂の考察と家庭音樂の提唱 (二) 明石 恭

價も安い二三十錢で購はれる、こんな樂譜で養成される音樂界の現況である。そしてそれらの大方の愛好家は日本古事幾千年を経て今や磨のかかつて完全に音樂藝術の輝きを出してゐる。日本樂(三味琴尺八)を顧みないのみか悔辱を興へてゐる、三味は藝妓で花柳樂器琴はお嬢様、尺八はドラ息子子の専有で而も曲たるや單

調で薄く上スベリがしてゐる故日本樂はつまらぬといふのである。成程その點では律だとか形式に於いては内面的に西洋樂には適し難い所はあるかも知れないが感覺への直覺情緒的の所は西洋樂の此ではなく寧ろ世界的に超然たる世界を獨占してゐるのである、前言を裏打ちする例證として日本で音樂家に依り悔辱される日本樂が近ごろ西洋各國で各音樂家に樂師に依つて日本曲の粹が認められ編曲されてドントノ演奏されてゐるではないか、就中六段、越後獅子、勸進帳、小鍛冶の如きは米國邊りでは日本に於ける支那樂の如く素晴らしい歓迎であるといふのではないか、而もかつばれの如きは立派にジャズの形式に於いて世界的に認められてゐるのであるではないか、いつたい三味線をして藝妓の専有物で淫蕩的情緒に低迷して下劣だと解して顧みない人々はそのジャズやトロットの淫賣的、臭味のメロデーの零圍氣を何んと解してゐるか、耳かじ、丸ビルオールバックの末世紀的心理の不良共ちつたおお謹しみなさい、また、琴を箱の音樂といふ音量が弱いからだらうかそれとも他に何か意味あるのか知れない

品質優良 精米所

石城郡平窪村 松吉屋本店

電話二四二番

番〇六一出呼話電 町橋長町平

スマシタイ達配速早ズラハ拘ニ少多ハ文注御

スマ願シ試御ハ度一非是

酒 鶴仙

松吉屋本店

電話二四二番

冬物に

折中

新型帽子

ベロアー拾四、五圓

フアー七、八圓ヨリ

ウール二圓五拾錢ヨリ

ホツク帽

五、六拾錢ヨリ

三圓位マデ

ワイシヤツ

一圓九拾錢ヨリ

拾圓位マデ

ツルヤ

平四丁目

第二病室 増設

院長 醫學士 高久

副院長 新潟醫學士 赤羽

藥局長 藥劑師 佐竹

平町田町電話三一五番

高久病院

モト一ル

電氣機械器具各種材料販賣

電燈電力工事設計並ニ請負

製作ハ日立製作所

販賣ハ磐城工業商會

株式會社日立製作所特約店

東京電氣株式會社特約店

器壓變とルト一モ

すまし致を修理の

目丁四町平線警常

番八一話電

會商業工城磐

助治佐村中

外務員募集

福島縣其業無盡平代理店

日本勸業債券會社

現物賣買株式問屋

平町南町公會堂角電話三四四番

大谷保太郎

吉田屋染工場

手拭、消防被服 專染所

印半天、風呂敷

小役員募集

弟子さん

平町五丁目

電話五五八番

公債買券

大正生命保險株式會社

平代理店

多田井質店

平町大工町

美術寫真引伸專門

齊藤寫真館

平町三丁目 (電話三五九番呼出し)

新發賣

德用袋入

森永(茶)山城

百二十分入 一圓五十錢

六十分入 七十五錢

三十分入 四十五錢

森永(ほう)宇治

百二十分入 八十五錢

七十分入 五十五錢

四十分入 三十五錢

森永宇治茶袋入は、實質本位のお茶で最も徳用品で御座います。森永のお茶は、本場山城の理想工場で精製致しました、生粹宇治茶であり、ますから他に得られぬ香味を保有して居ります。

菓子店食料品店茶舖にあり

店理代 ヤトモツマ

和洋音樂合奏純本日演奏大會

明日(十一月廿六日) 晝(十二時三十分) 夜(六時)

二回有聲座に於て (會費五十錢(十五歲未満半額))

第一部 (洋樂) 洋琴提琴合奏

(1) 淨瑠璃連彈曲 三十三間堂 野崎村

(2) 洋琴獨奏 磐城の誇

(3) ハーモニカ獨奏 祇園の宵數へ唄バレーション

(4) 洋琴獨奏 落花の譽

第二部 (琴曲及尺八)

(1) 春の曲 (2) 落花の譽

(3) 磯千鳥 (4) 磐城の誇

第三部 (長唄) 洋樂合奏

(1) 越後獅子・松のみどり・長唄・小鍛冶吾妻八景

第四部 (合奏)

(1) 千鳥・六段 (琴尺八オーケストラ)

主催 磐城和洋音樂協會

後援 上原眞佐喜先生、植竹源太郎先生、東京和洋音樂協會、竹風會、郷土文化會、平各新聞社

齒科 森永 齒科醫院

官行製炭の計畫は 民間新業への壓迫だ

濱三郡同業組合が陳情 上京して農林署へ

濱三郡の木炭同業組合の年産高は二百五十萬俵を標準とされてきたが近年財界の不況と營林署の官行製炭のため民間の事業は極度に壓迫され殊に主産地の石城郡川前村方面の山林濫伐の結果製炭産量

激減し 本年の如きは既報の如く四割方の減少を見越されこれと同時に同郡の主要生産地は川部、上遠野、貝泊等北白河郡境の山間地方に移動しナコン、植田町を集散地とするに至つた状況で同業者が少なからず恐慌を感じて居る矢先

平警林署では民間業者の新開拓地たる前記貝泊、川部方面に官行製炭所の計畫を起し既に測量その他の調査を遂げた事を同地方製炭業者の知る所となつたので一同は驚いて

數日前 平町の同業組合事務所に出頭以上の事實を告げたので組合では直ちに役員會を開き協議を遂げた末一先づ中營林署についてその意向を確かめその實現を知つたので組合では大いに狼狽し

善後策 の考究中であるがとりあへず農林省に陳情する事に決し早川組合

新校舍増築 校庭を擴張

平町田町藤田裁縫女學校にて生徒數益々増加し校舎狹隘を告ぐるに至つた爲め先年總三階の校舎を増築したが運動場の設備がなかつたので北隣の薫風園跡を買収し二萬五千圓を投じて總三階建を其處に移し校庭を大ならしむると同時に新校舎や寄宿舎も増築すると

短縮される 江名漁港工事 十五年度迄に

江名町の漁港第二期工事は



秋の食物の貯法

▲穀類 酒を塗つて風通しのよい所に吊しておけば何時でも虫の付く事はありません。又空罐に木灰を入れ其の中に埋めて置いておくとよい

港工事を急速に完成させる必要がある。同町では一時借入れの町債で四ヶ年工事を短縮して十五年度まで二ヶ年度内に完成させる意氣込みで遠からず町會を開き決定するといふが

水産校 の敷地は海岸築港の埋立地二千坪をあてる考へである

殊に御婦人に望みます。櫻村平警察署長談

さかしまで始末の出来ない火事はすぐ警察署へ

報知して 戴き度い

火事の大事に至るに至らぬのは「最初の二分間」です。それから近火の時には必ず戸をこめて逃げて下さい。出した荷物を消火栓の上に置いてはなりません

平町自強會が 茶話會を開く 郡山の土産談

平町自強會にては今廿五日

▲大根 冬の間に大根を貯けるには秋の晩生の充分に育つた無傷のものを選り葉を少くして日當りのよい所に深さ二三尺の溝を掘り縦に大根を一行に並べて葉を少し表に出し葉で被ふて置き

▲里芋 日當りのよい所の穴を掘り其底に糠か松葉をか

を敷き其の上へ里芋を逆さまに入れ更に松葉か又は糠を厚くかけ斯うして順々に積み重ねて貯へます

▲人参や牛蒡 を久しく貯へるには優良な品を選んで一兩日間日光に曝してから日當りのよい砂地に埋けて雨露のからぬ様に覆たしておきます

喜んで 多く融通する 白井頭取談

地方融資の方針に關し此程來平の白井農銀頭取「地方農村民も便利な金融機關として農工銀行を利用する向きが漸次多くなつたことは誠に喜ばしいことである

今後 益々地方農村の希望に添ふ様に常に多額の金を用意し地方民の期待に副たいと思つてゐる、過般も三十萬圓の農工債を募集した處百五十萬圓と云ふ募集額の五倍に達し己むなく八十萬圓だけをとつて前回同様

多大の 募入れを 來した様な事情で目下の處手許は至極豊富であるから事情のゆるす限り喜んでより多く融通したいと思つてゐる」云々と語つた

本社から 花輪を贈る 明日の和洋樂

既報和洋音樂の合奏に依つて純日本樂のみを演出する演奏大會は明廿六日午後零時半より午後六時との二回に亘つて開催される筈であるが本社には此舉を賛して夫花輪を贈る事となつた因に番組は左記の如くである

兒童の カイ虫 防疫官の行脚

衛生思想普及のため本縣防疫官花井正良氏は同落合玄一氏と共に廿日より石城郡内小學校高久、江名、内郷

日午後六時から藤田裁縫女學校に於て茶話會を開き郡山市の自強會發會式に臨み斯術の創始者たる中井房五郎氏に面接し來つた清野才二、田卷榮一、馬目武之助諸氏の土産話ある由因に會費は十錢にて何人をも歓迎すると

平稅管内 酒の造石數 二萬五千石弱

平稅務署管内における本年度酒造石高は二萬四千七百五十六石で前年に比し一千四百石の減であるがなほ一千石以上の醸造家は左の如し

△二四六〇石、内郷村馬目太吉△一六八石、平窪村松本太仁△一五〇石、勿來大平平吉△一三三七石、小名濱小野晋平△一〇〇〇石、勿來赤津調

鷹崎五段入營 講道館五段鷹崎正己氏は來る廿九日午前九時廿五分平驛發にて近衛師團へ入營の途に着く由

募集 文藝其他投稿を募集します

を得教育資料として脚色映畫化した「孝は總てを思む」は本日午後一時から平劇場にて封切されたが興味多き書面の變轉が極めて鮮明に寫し出されて居るとして評判よく此外現代の壺坂靈驗記とも云ふ可き「黎明の郷」及び「復活」が上映されると

耳の鬼 酔つばらつて八十

大里郡藤澤村農大沼富太郎父庄助は七時半頃同村飲食店大元次郎方で強か飲酒に泥酔元を帰宅後娘いわいごんを造れと言付けたがいわいごんは概し居宅奥座敷に枯松葉を集めて放火、火は二百五棟を焼き損害二千六百圓に上り庄助は取調中

の三代表校を選定し兒童の糞便調査中高久、江名校は既にその調査を了したが其の結果高久校兒童糞便中には百人中悉くくわい虫の存して居らぬ者はなくこれは糞便を以て耕作されたる蔬菜類より來る者で之に反し江名校は副食物の主たる物は魚類であるがため之が含有量は僅にその三分の一にすぎぬと言ふ事證を得た内郷校は廿三日より本月末日迄の豫定で調査中であるが含有細菌により適當なる衛生講話をなしてゐる

孝子美談上映

平町の納豆賣兄弟にヒント